

# 反差別国際運動（IMADR）

## 第8回総会決議

反差別国際運動（IMADR）は、2011年9月13日に東京で開催された第8回総会において、国家社会主義（ナチズム）の迫害とテロの被害者となったスィンティおよびロマの被害者の墓地を取得し、永久に保存していくというドイツ・スィンティロマ中央委員会の取り組みを強く支持することを決定した。

ナチ・ホロコーストの犠牲になった大部分のスィンティとロマの墓地はどこにもないため、スィンティおよびロマの遺族にとって、家族の慰霊となるこれら墓地の確保は非常に重要である。ホロコーストの体験はドイツのスィンティおよびロマの文化的アイデンティティに深く浸透している。

IMADRは、スィンティおよびロマに対するホロコーストをドイツ政府は1982年になりようやく認めたことを認識している。したがって、IMADRはドイツ政府および関係機関に、それら墓地の永久保存を保障する法令を強く求めるものである。以上、決議とする。

2011年9月13日

反差別国際運動（IMADR）第8回総会

参加者一同